

(1)学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策(・)
国語	(1)学力調査結果から見られた傾向 ○領域の「言葉の特徴や使い方に関する事項」のみ、県・全国に比べ低かったが、それ以外は全て高かった。 (2)生徒意識調査から見られた傾向 ●読書する時間 0～30分/1日:80%以上 ●家にある本の冊数 0～25冊:60% ●新聞を読むかどうか 全く読まない:80%	・本や紙に触れる機会を設ける。 ・図書館の活用を授業で取り入れる。 ・調べ学習では、積極的に図書館の本を使ってみる。 ・朝読書を徹底するなど、本を読む場面を設定したり、読書の大切さについて話したりする。
数学	(1)学力調査結果から見られた傾向 ○全領域、評価の観点、問題形式において、県・全国に比べ高かった。 (2)生徒意識調査から見られた傾向 ○数学の勉強は得意ですか:肯定的な回答 53.3% ○学習内容を日常で活用しているか:肯定的な回答 57.8% ○その他の項目については、肯定的な回答が60%を超えていた。	・さらに力を付けさせるためにも、読む力や書く力を付けさせたい。 ・そのためには国語科と連携を図り、読解力を高めさせる。 ・無回答の改善に当たり、思考・判断・表現の力をつけさせるため、授業でも演習を取り入れたり、過去問題を活用したりする。 ・基礎的な内容の理解と定着に、今まで以上に力を入れる。
理科	(1)学力調査結果から見られた傾向 ・IRTバンド1～5のうち、2, 3がともに40.5(計81)である集団 (2)生徒意識調査から見られた傾向 ●将来、理科や科学技術に関わる職業に就きたいか:肯定的な回答 24.4% ○それ以外は、46%以上の前向きな意見であった。	・IRTバンドが高い集団にするために、読む力や書く力を付けさせたい。そのためには国語科と連携を図り、読解力を高めさせる。 ・生徒の興味関心を引くような授業を行う。 ・基礎的な内容の理解と定着に、今まで以上に力を入れる。 ・身近な生活と関連付けさせる。

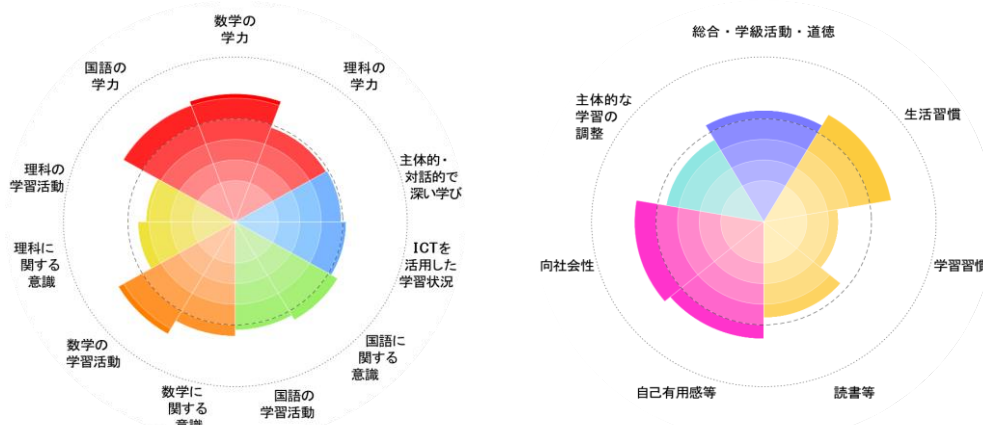
(2)質問紙調査から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策(・)
質問紙	●平日の家庭学習が30分未満が計42.2%であり、県(21%)、全国(19%)に比べ家庭学習が定着していない。 ●休日においても、学習時間が1時間未満の割合が計64.4%と家庭学習が定着していない生徒が多い。 ○上記2つ以外は肯定的な回答が多かった。中でも特に、「人が困っているときは、進んで助けるか。」や「いじめはどんな理由があっても良くない。」の肯定的な回答は100%であった。	・eライブラリを活用し、家庭学習の定着を図る。

(3)その他、今後特に力を入れて取り組むこと

学校全体	・読む力や書く力を付けさせるためにも国語科と連携を図り、読解力を高めさせる。 ・本や紙に触れる機会を設ける。 ・思考・判断・表現の力を付けるため、授業でも演習を取り入れる。
------	--

(4)学力・学習状況調査結果チャート(破線は全国平均)



【受検者数】

42

名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。

(5)質問紙調査の結果より(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています。)

